

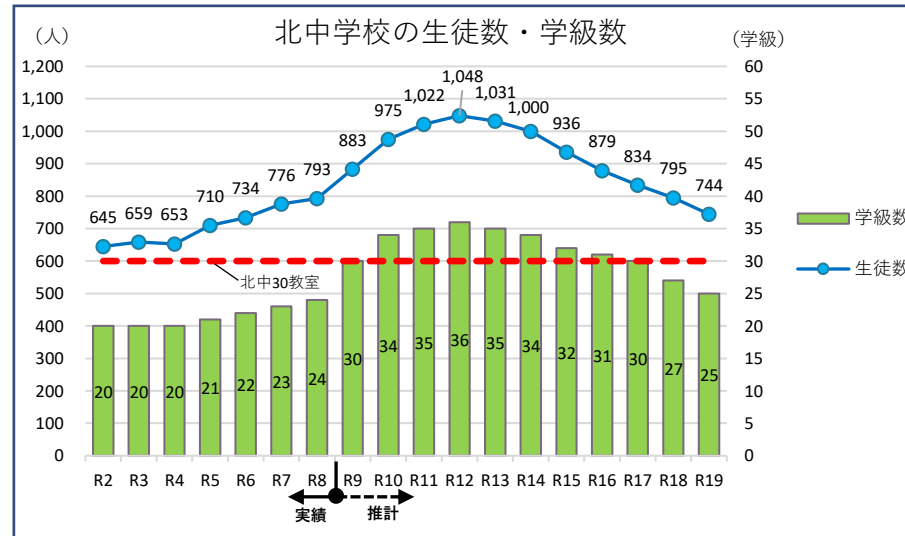
令和8年度パブリック・コメント手続資料

北中学校、早稲田中学校及び瑞穂中学校の
適正規模・適正配置に向けた今後の方針に
ついて

三郷市教育委員会学校教育部
教育総務課教育環境整備室

学校を取り巻く状況

- 北中学校の通学区域は、居住する小学生が多いことから今後中学生が増加していく見込み
- 一方で、瑞穂中学校の通学区域は、少子化の影響により中学生が減少していく見込み



- ※1 令和8年度実績は令和8年4月1日時点
- ※2 学校選択制による入学見込者数を除く
- ※3 特別支援学級は、生徒全体の2%として算出

- 児童生徒により良い教育環境を整備するためには、学校の適正規模・適正配置を進めていくことが必要

これまでの経緯

令和7年

9月

通学区域編成審議会に諮問



9
~
11月

通学区域編成審議会です全3回の審議



11月

通学区域編成審議会から答申



令和8年

1月

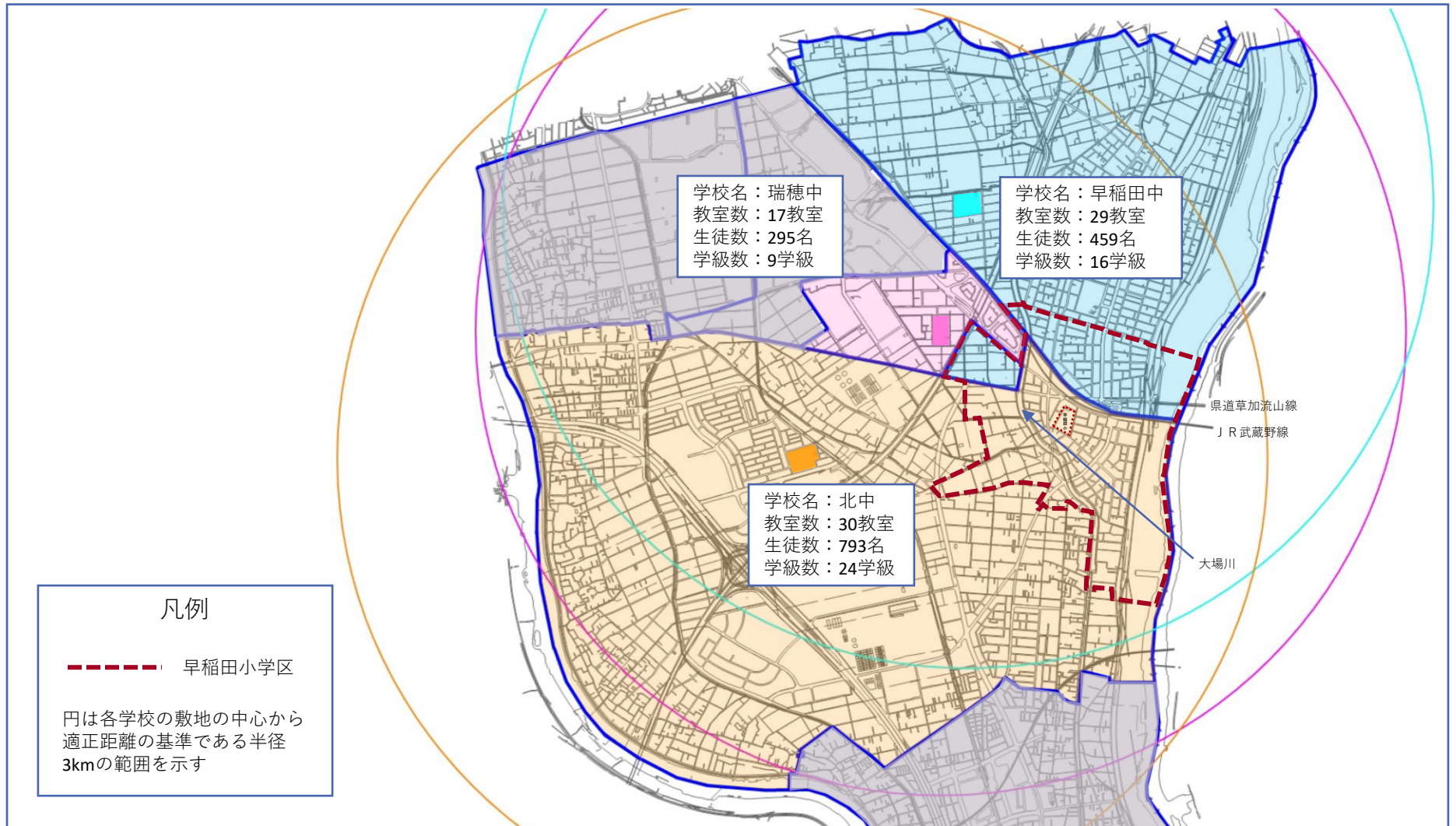
三郷市教育委員会の方針策定



3月

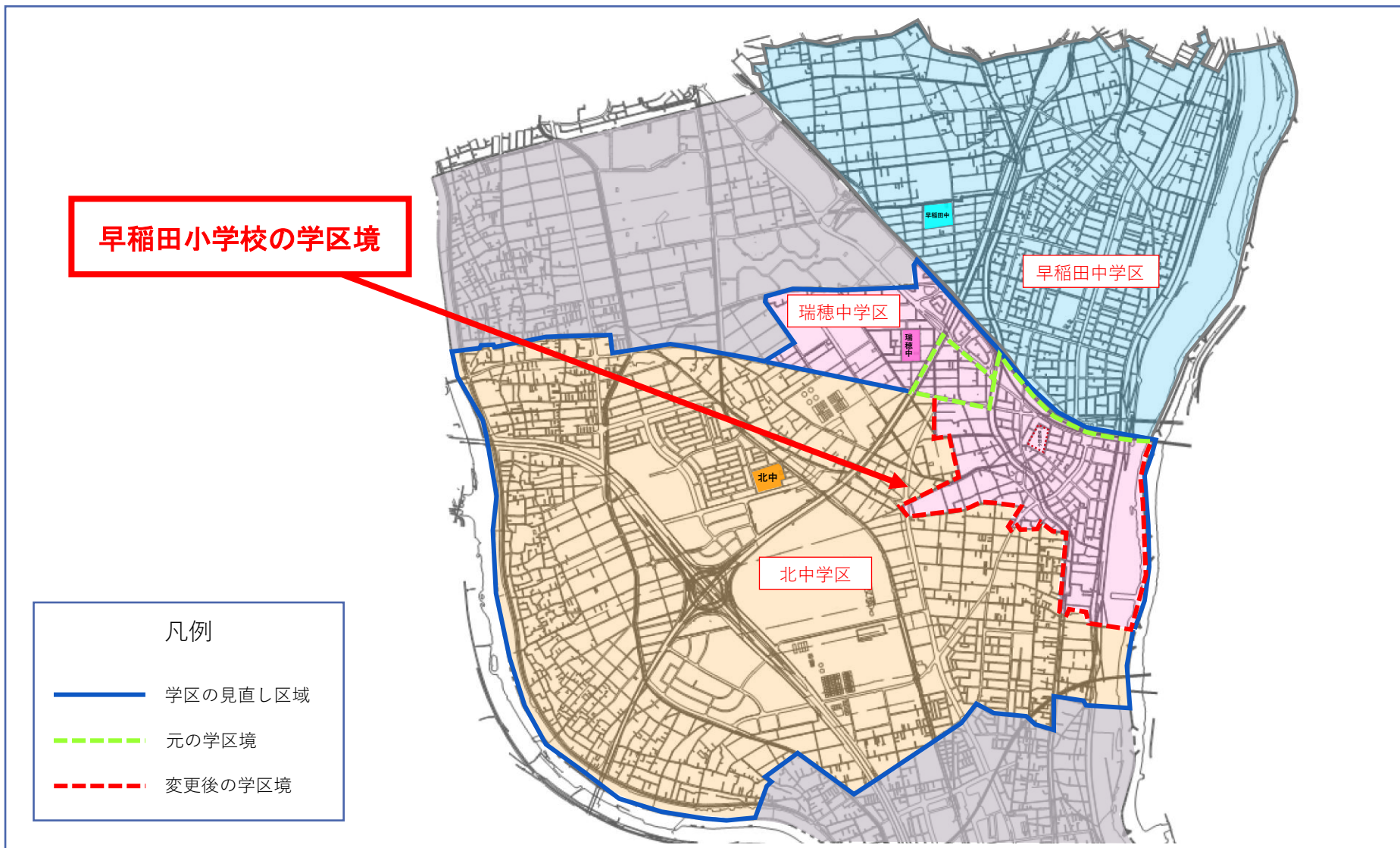
方針の説明会
(保護者や地域の方)

現在の各学校の概要



※ 生徒数及び学級数は令和8年4月1日基準

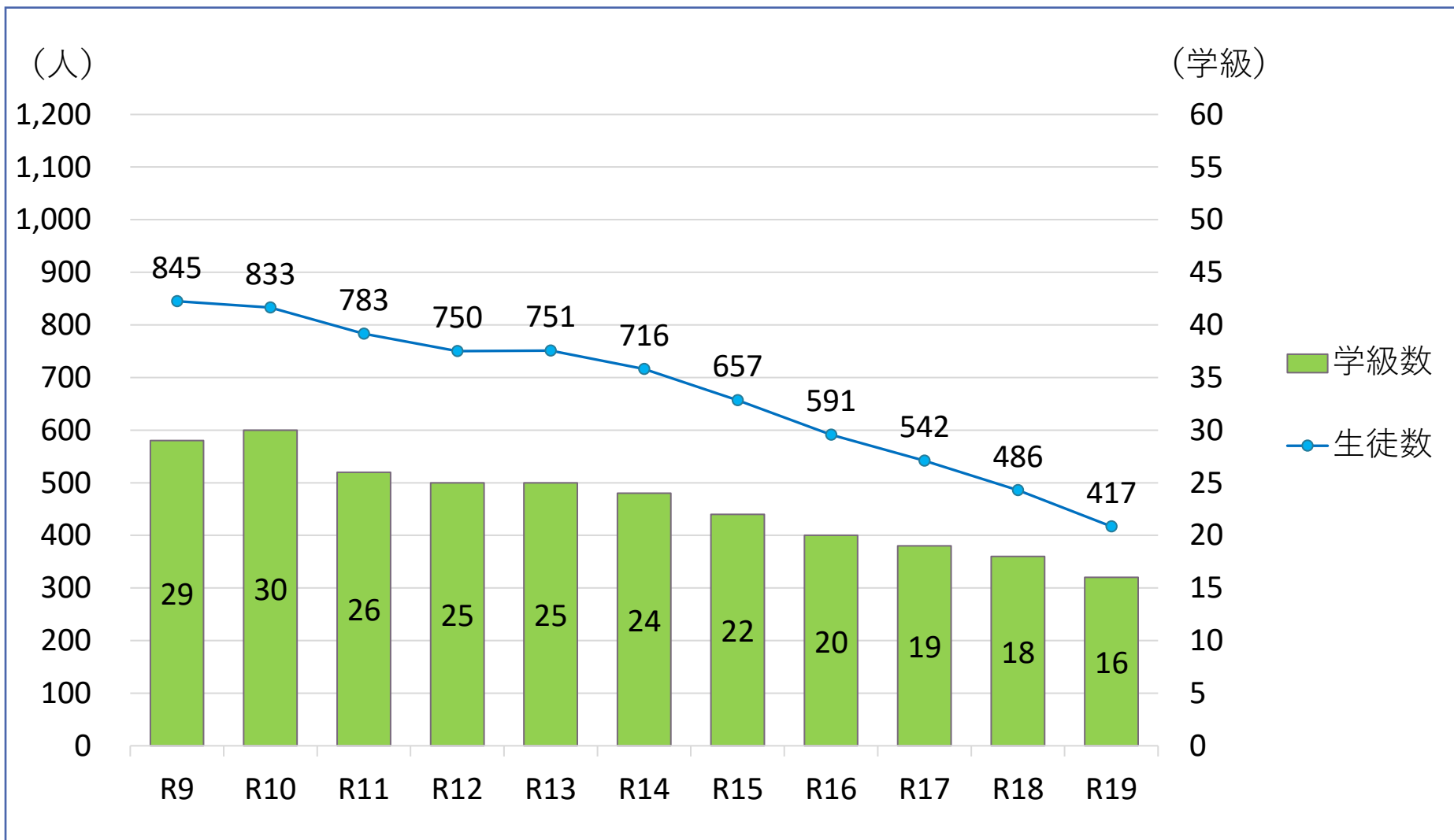
変更後の通学区域



方針策定の理由

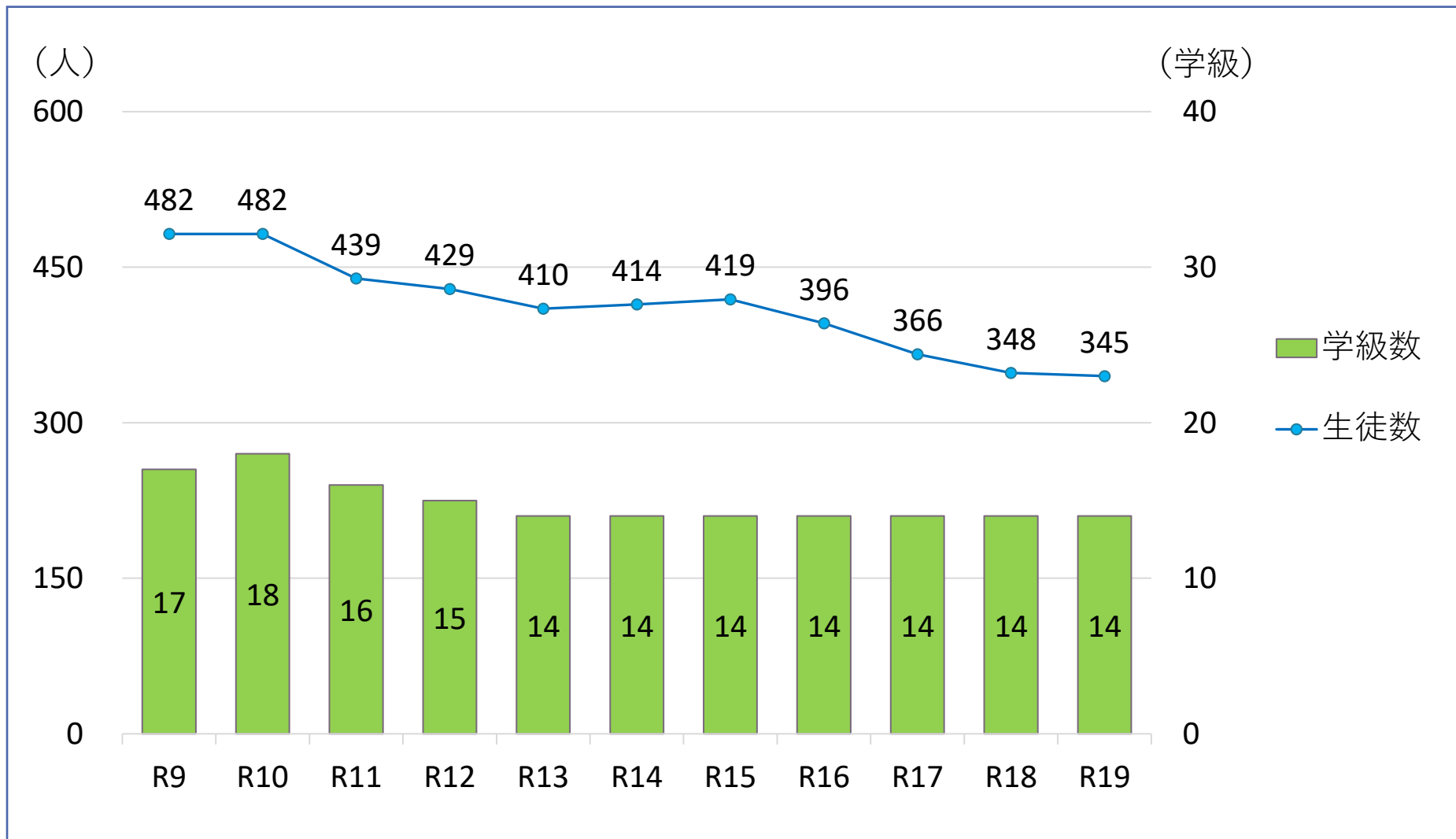
- (1) JR武蔵野線を境として通学区域を分けることで、通学時の安全性が高まることが見込まれるので、生徒が安心して登校できると考えられる。
- (2) 早稲田中学校と瑞穂中学校の生徒数のバランスが良くなる。
- (3) 今後、推計されている北中学校の生徒数・学級数の増加に対して抑制効果が見込まれる。
- (4) 周知期間を考慮して令和9年4月から適用することが望ましい。

通学区域変更後の生徒数と学級数の推計（北中学校 30 教室）



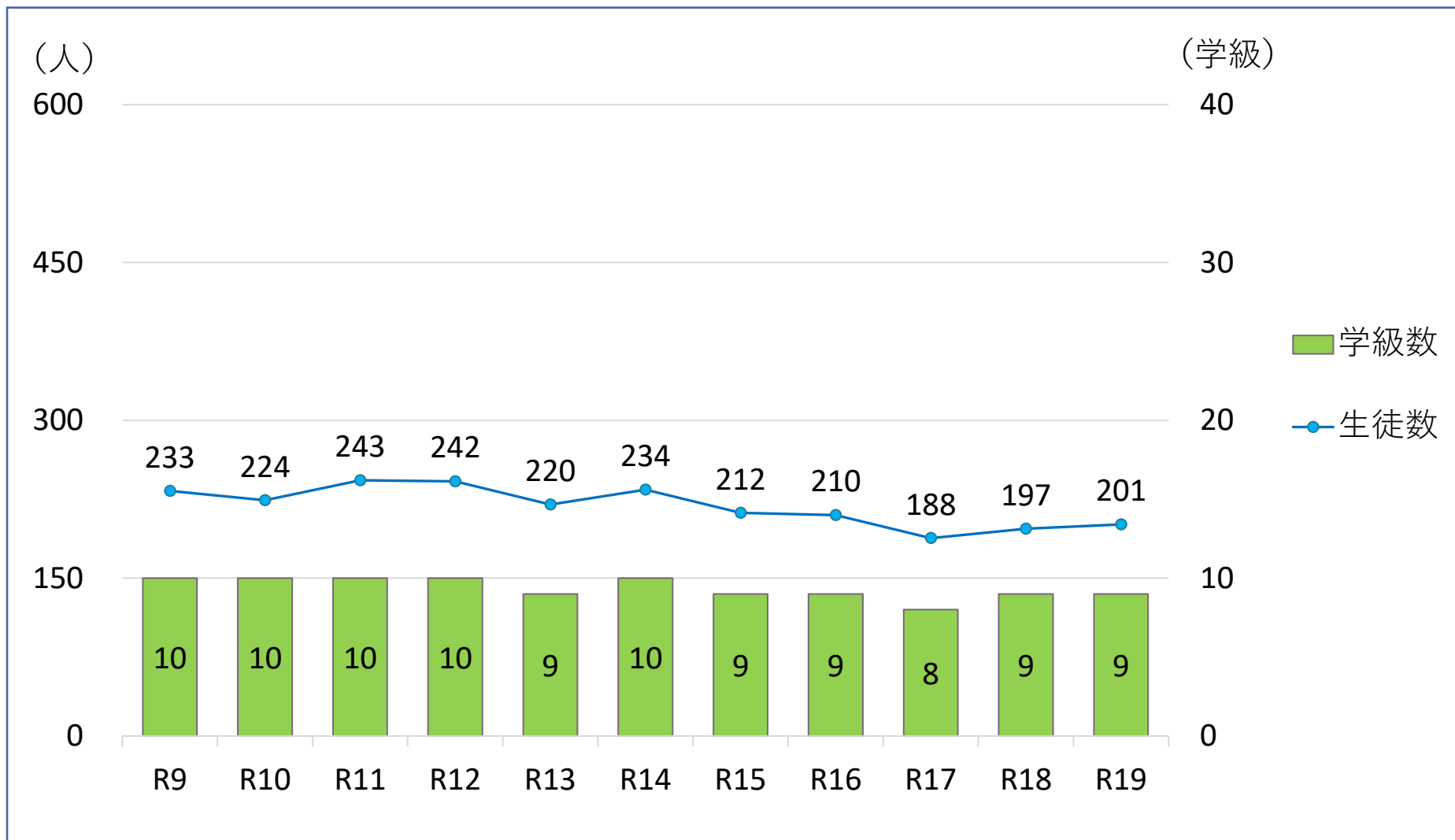
- ※1 令和7年5月1日時点の学区内居住人数に基づく
- ※2 学校選択制による入学見込者数を除く
- ※3 特別支援学級は、生徒全体の2%として算出

通学区域変更後の生徒数と学級数の推計（早稲田中学校 29教室）



- ※1 令和7年5月1日時点の学区内居住人数に基づく
- ※2 学校選択制による入学見込者数を除く
- ※3 特別支援学級は、生徒全体の2%として算出

通学区域変更後の生徒数と学級数の推計（瑞穂中学校 17教室）



- ※1 令和7年5月1日時点の学区内居住人数に基づく
- ※2 学校選択制による入学見込者数を除く
- ※3 特別支援学級は、生徒全体の2%として算出

経過措置等

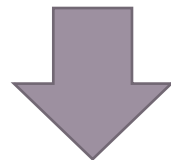
- (1) 既に在籍している生徒に対しては、引き続き同じ学校に通学できるよう経過措置を設ける。
- (2) 兄姉が北中学校在籍中であれば、希望に応じて弟妹も北中学校に入学できるよう配慮する。
- (3) 今回、通学区域が変更されるこどもたちに対しては、令和9年度から令和10年度までの期間、早稲田中学校も選べる措置を設ける。
- (4) 通学区域変更を決定する前に、児童生徒や保護者、地域住民の意見を聞く機会を設ける。

今後のスケジュール

令和8年

6月頃

パブリック・コメント手続
(児童生徒も含めて幅広く意見を募集)



7月

教育委員会定例会
(三郷市立小・中学校の学校指定に関する規則改正)

令和9年

4月

通学区域変更